

No. 6 2002年4月発行

淀川水系 流域委員会 猪名川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第6回猪名川部会の内容……………P.1
- 第6回猪名川部会の説明資料より抜粋……………P.5
- これまで開催された委員会および部会等について……………P.10
- 当日資料の閲覧・入手方法……………P.11

平成13年12月18日(火) 第6回 猪名川部会が開かれました。



【大阪府立国際会議場】

第6回猪名川部会 委員リスト

2001.12.18現在
(五十音順、敬称略)

No	氏 名	対 象 分 野	所 属 等	備考(兼任)
1	池淵 周一 (部会長代理)	水資源 (水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 教授	委員会
2	田中 哲夫	漁業関係 (魚類生態学)	兵庫県立姫路工業大学 自然・環境科学研究所 助教授	-
3	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授	-
4	服部 保	植物 (植物生態学)	兵庫県立姫路工業大学 自然・環境科学研究所 所長、教授	-
5	東山 充	地域の特性に詳しい委員	特になし	-
6	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表	-
7	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員 (住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会	-
8	本多 孝	地域の特性に詳しい委員 (環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長	-
9	松本 馨	地域の特性に詳しい委員 (地域保護活動、淡水生物調査、 環境 (自然保護) 教育)	池田・人と自然の会 代表	-
10	森下 郁子	動物	淡水生物研究所 所長	-
11	矢野 洋	水質	神戸市水道局水質試験所 所長	-
12	米山 俊直 (部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 大手前大学 学長	委員会

注1：対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

第6回猪名川部会の内容

10名の委員が出席して、審議が行われました。当日は、河川管理者より委員から寄せられた質問に対する説明が行われた後、「治水」等についての検討課題に関する議論が行われました。

第6回猪名川部会(2001.12.18開催)結果概要(暫定版)

庶務作成

1 決定事項

- 次回部会以降の日程が下記のとおり決定した
- ・第7回部会：1月18日(金)13:00～17:00
 - ・第8回部会：1月27日(日)13:30～18:00
前半 一般からの意見聴取
後半 審議
 - ・第9回部会：2月15日(金)15:00～18:00
 - ・第10回部会：3月4日(月)17:00～20:00

2 審議の概要

第6回委員会(2001.11.29開催)の報告
これまでに委員から寄せられた質問に対する河川管理者からの説明
検討課題に関する議論～「治水」等に関する意見交換
治水に関する基本的な考え方として、主に総合治水の考え方、保水能力等について意見交換が行われた(4 主な意見 参照)。河川管理者より「用意できる資料は部会に提出したい」旨の発言があった。
住民意見の聴取・反映方法について
流域委員会で実施中の一般意見募集についての報告があった。
一般からの意見聴取
一般傍聴者3名から発言があり、うち1名からは併せて資料も配付された。

3 説明要旨：資料4「猪名川部会における委員発言に対応する資料」

- i) 「総合治水対策メニューの流域対策」に関する質問について
- ・遊水地域13カ所については、特に指定をしておらず、条例等もない。また、遊水地域には盛土などの処理も公共側ではしていない。
 - ・流域と河川との分担量については昭和55年当時と比較して調整池の整備や中下流域の低地への氾濫を0にするなどにより流域分担分として1370m³/sを80m³/sに、河道処理量を600m³/sから1770m³/sに増加させることと一庫ダムの整備により河川で1970m³/sを分担する計画としている。

ii) 「各対象洪水の雨の倍率と確率規模の関係」に関する質問について

- ・日雨量、雨倍率、確率年について、それぞれの関係等の説明が行われた。
- ・日雨量は実際に降った雨であり、雨倍率は実際に降った雨の雨量をもとに2倍等で示すものである。確率年については100年に1回起こりうる規模の雨量で、大きくなる（例えば1000年）ほどめったに起こらないような大きな雨量を示している。
- ・実際に降った雨量から統計処理するにはM34～S44までの年最大値を標本としたグンベル分布により統計処理されている。この統計処理により雨倍率と日雨量確率確率評価の関係は資料4のグラフを用いて換算できる。例えば、神崎橋地点のデータをとると、1倍の137.2mmはおよそ6年に1回、0.5倍の68.6mmはほぼ1年に1回、2倍の137.2mmは380年に1回となっている。

iii) 「在来植物を増やす取り組み」に関する質問について

- ・堤防に植物を受けることについては、浸食防止の芝の他は根腐れなどにより堤防の弱体化につながるためあまり好ましいものではないとの認識をもっているが、環境上とか社会的なニーズから治水上支障にならないものは別途検討する余地があると考えている。堤防上に植物を植える事例としては桜堤モデル事業があるが、これは堤体の弱体化を防ぐ工夫をして実施している。
- ・また、低水路に植栽をした例としては、工事用の土砂の採取後にビオトープを整備したが、これは地域の人々が参加したワークショップにより計画を作った。完成式には通常河川にあるような植物としてフジバカマとカワラナデシコを植えた。

iv) 「東海豪雨」に関する質問について

- ・東海豪雨はトータルの雨量は567mm、9月11日の日雨量が428mm、1時間の最大雨量が93mmであった。
- ・日雨量428mmはそれまでの名古屋気象台の最大である平成3年の218mmの倍近い雨がふったことになり、これが今回の被害の元ではなかったかと考えている。

4 主な意見

<地球環境>

- ・地球環境保全のために、行政・事業者・市民が実践すべき方策を、河川の立場から考えていく必要がある。

<ライフスタイル>

- ・水の使い方を啓発してゆく取り組みや、ライフスタイルそのものを変えてゆくための取り組みを今から実行する必要がある。

<パートナーシップ>

- ・流域全体の委員会だけでなく、余野川ダムといった個別の事業ごとに委員会を設置し、地元の方々とともに議論し、市民と行政が一体となって考えてゆくため仕組

みを作る必要がある。

<洪水>

- ・猪名川の雨の降り方の特徴として局地的な集中豪雨が挙げられる。集中豪雨を評価する場合には、上流域での降雨量や被害データに加えて、下流域での降雨量や流量といったデータも出せば、流域全体の実態が見えてくるのではないかな。
- ・猪名川流域では昭和58年以降豪雨を記録していないが、平成7年には神戸の新湊川で集中豪雨による洪水が発生した。今後も楽観はできない。そういった点からも、降雨確率よりも、雨倍率を基準にして考えることもあり得るだろう。
- ・洪水は場所によって発生確率も規模も違ってくるため、1つの基準をもとにして河川整備計画を考えていってよいのか。今後、基準の見直しを含めて、検討する余地がある。
- ・想定外の洪水が発生した時のリスクマネジメントを河川整備計画に盛り込む必要がある。
- ・水田で積極的に貯留するならば高上げの必要があるが、農家の協力が得られるかが難しい問題である。
- ・東海豪雨のような雨の降り方、洪水について危機意識が低い。特に若い世代、子供たちが意識が低いのは問題。

<地震、津波>

- ・地震調査委員会によれば、南海地震の発生確率は、10年以内は10%未満、20年以内は20%程度、30年以内は40%、40年以内は60%、50年以内は80%、東南海地震の発生確率は、10年以内は10%程度、20年以内は30%、30年以内は50%、40年以内は70～80%、50年以内は80～90%となっている。
- ・河川整備計画には、地震にともなって発生する高潮・津波による水位上昇等の被害を想定した対策を盛り込む必要があるだろう。
- ・地震発生にともなう上流地域の土砂の崩壊が雨と複合すれば、土石流等が発生する可能性もある。

<生物、生態系>

- ・河川の植物の一番の問題点である帰化植物を除去して、由来のはっきりした在来植物を植えること、自然の復元・回復といった点から考えても、大きな意味があるだろう。

以上

説明及び発言内容については、現在確認中であるため、随時変更する可能性があります。尚、議事内容の詳細については「議事録」をご確認下さい。最新の結果概要及び議事録は、ホームページに掲載しております。



■ 説明資料一覧

配布資料

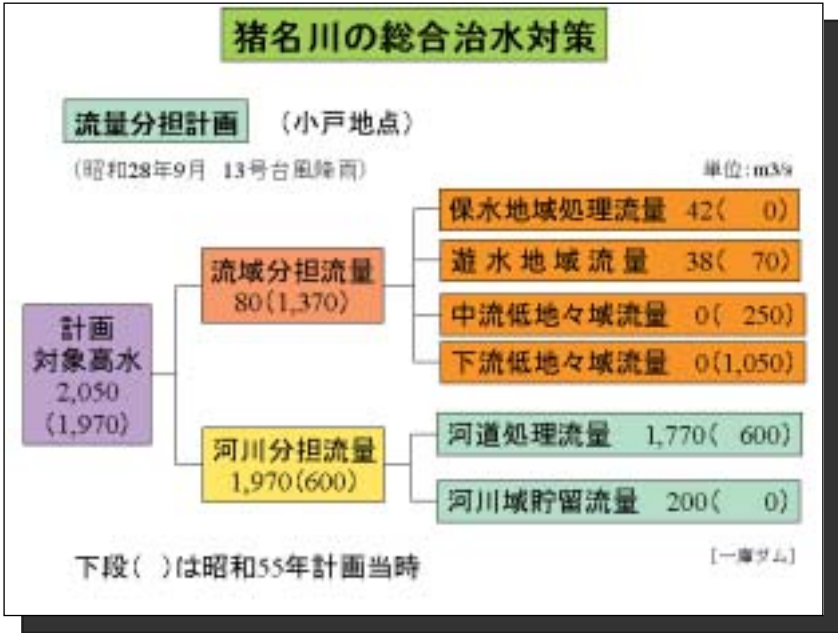
資料名		提供主体	ボリューム ()は頁数	資料請求 No
議事次第		庶務	A4(1)	i06-A
資料 1	第 6 回委員会（2001.11.29開催）速報（暫定版）	庶務	A4(11)	i06-B
資料 2 - 1	検討課題についての意見整理資料（案）	庶務	A4(12)	i06-C
資料 2 - 2	委員および河川管理者から提出された検討項目、ご意見とりまとめ表（案）	庶務	A3(16)	i06-D
資料 2 - 3	各委員・河川管理者の提案内容	庶務	A4(58)	i06-E
資料 2 - 3 補足	猪名川部会の骨子（素案）：松本委員提供	委員	A4(2)	i06-F
資料 3	住民意見の聴取・反映方法の検討について	庶務	A4(1)	i06-G
	聞かせて川の姿を、語って川への想いを（チラシ）	庶務	A4(2)	i06-H
資料 4	猪名川部会における委員発言に対応する資料： 河川管理者提供「河川管理者からの説明」	河川管理者	A4(19)	i06-I
資料 5	会議の運営に関するお知らせ（第5回運営会議より）	庶務	A4(1)	i06-J
参考資料 1	第 5 回猪名川部会（2001.10.9開催）速報（暫定版）	庶務	A4(9)	i06-K
参考資料 2	委員および一般からの意見	庶務	A4(13)	i06-L
参考資料 3	検討スケジュール（案）：第 6 回委員会資料より	庶務	A4(1)	i06-M

注1：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.11の「当日資料の閲覧・入手方法」をご覧ください
注2：「」のついた資料は原本はカラーとなっていますが一般傍聴者には白黒コピーを配付した資料です。
ホームページでは、原本がカラーのものはカラーで閲覧頂けます。

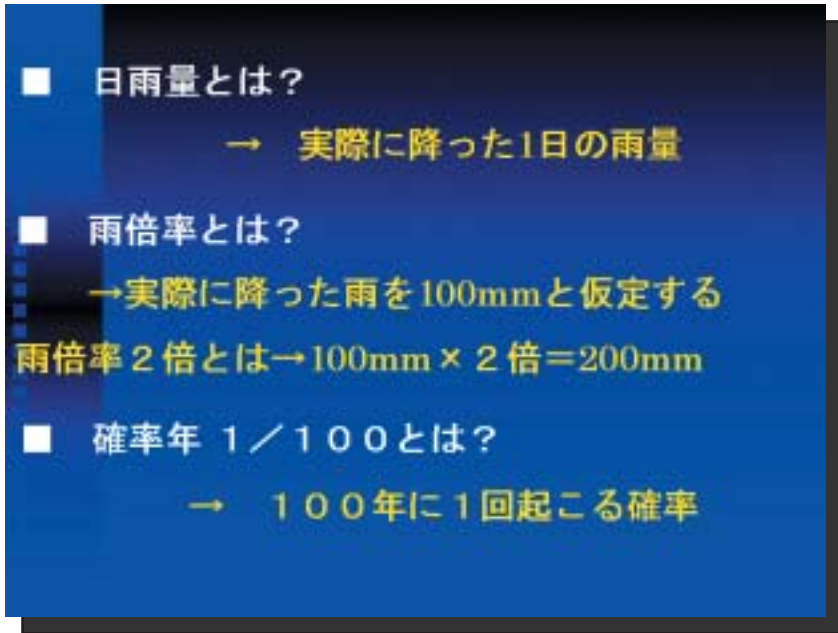
第6回猪名川部会の説明資料より抜粋

■ 河川管理者説明資料
河川管理者より、資料 4 を用いて、これまでに委員から寄せられた質問への回答として、流域の治水対策メニュー、雨倍率と確率規模の関係、在来植物を増やす取り組み、東海豪雨についての説明がありました。以下に、資料より主な内容を抜粋して掲載いたします。

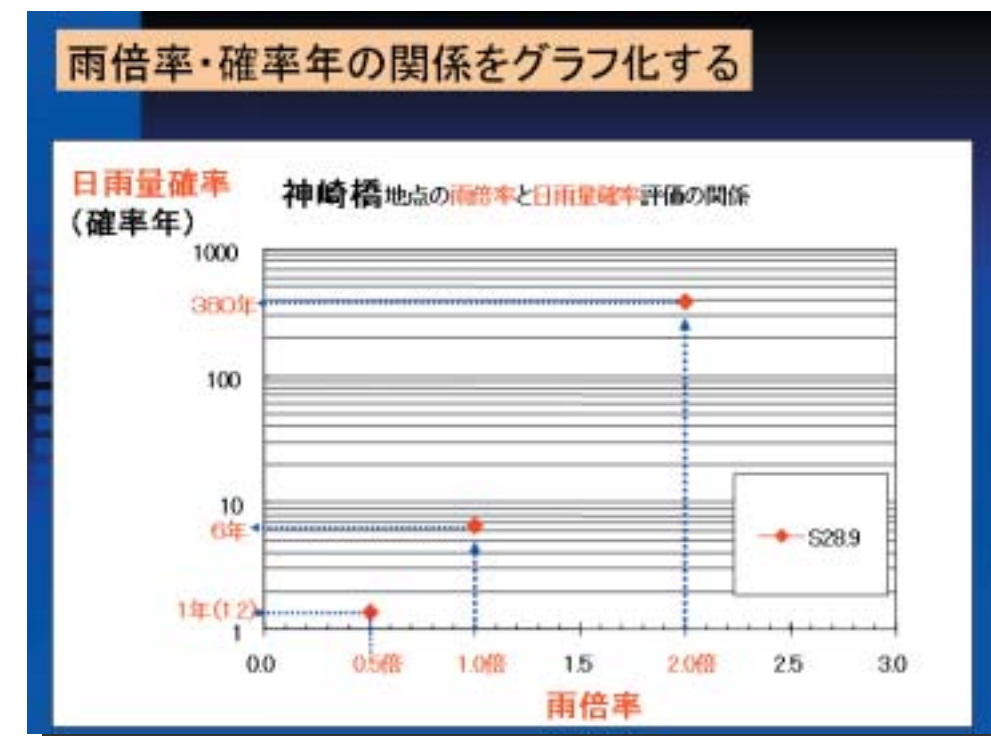
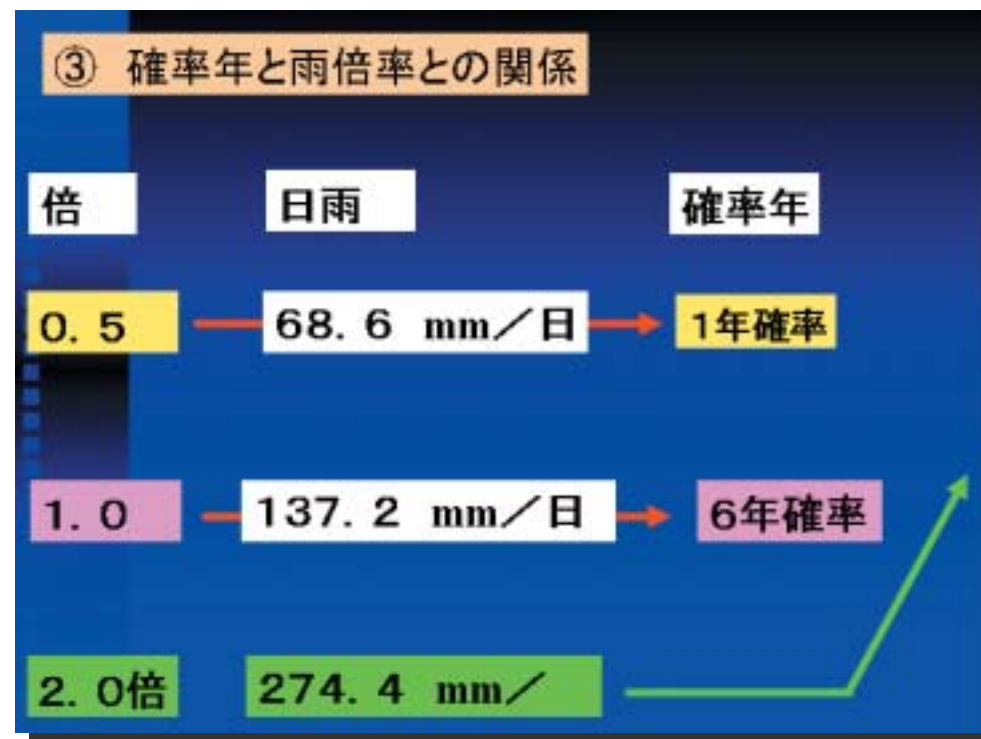
● 猪名川の総合治水対策



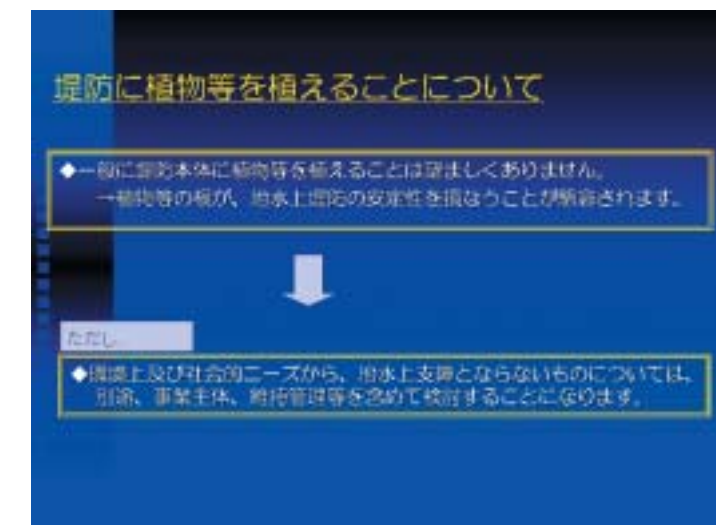
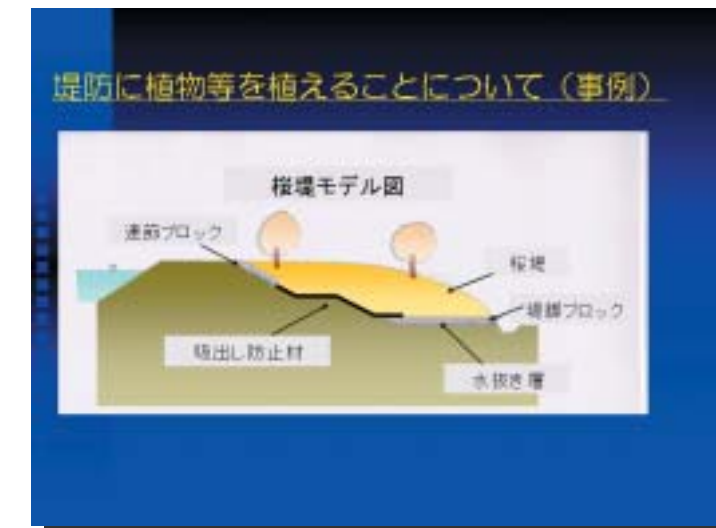
● 日雨倍率・日雨量・確率年の関係



● 確率年と雨倍率との関係



● 堤防に植物を植えることについて(事例)



● 低水路部での事例(下河原ワークショップにて)



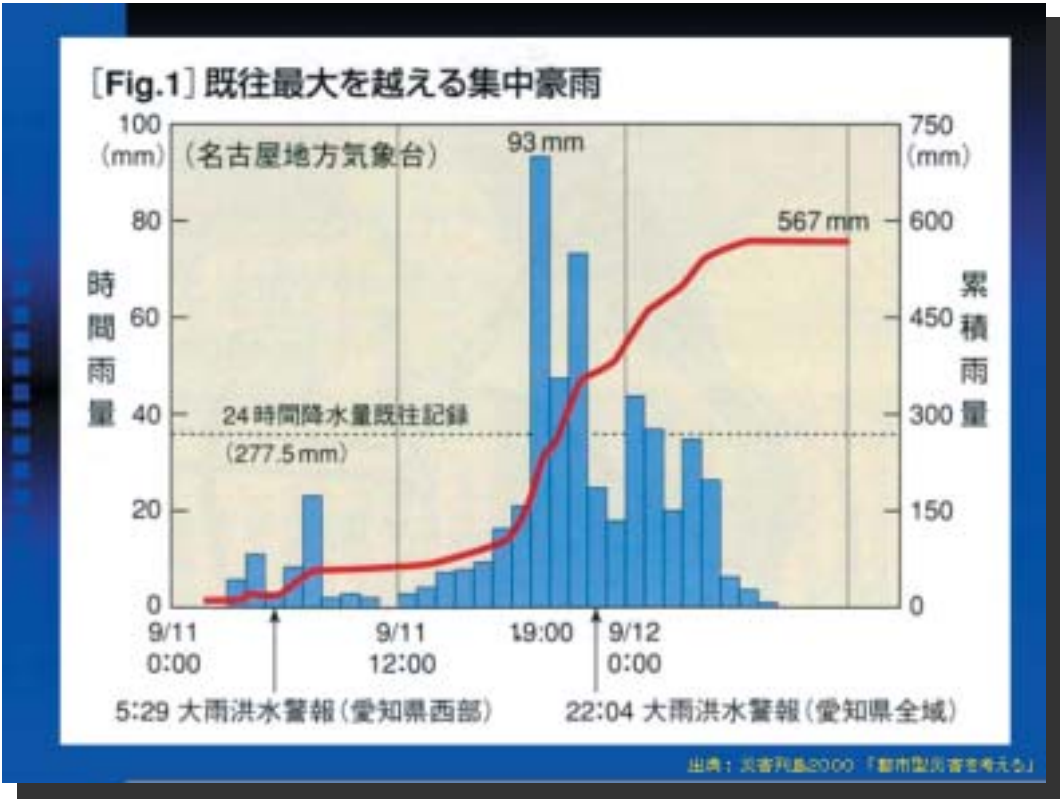
● 東海豪雨(堤防の決壊)



● 東海豪雨(日降雨量の記録)



● 東海豪雨(既往最大を越える集中豪雨)



これまで開催された委員会および部会等について

第6回猪名川部会(平成13年12月18日現在)までに、以下の会議が開催されています。

	会 議	開 催 日		会 議	開 催 日
委 員 会	第 1 回 委 員 会	平成13年2月1日(木)	淀 川 部 会	第1回 淀川部会	平成13年5月9日(水)
	第 2 回 委 員 会	平成13年4月12日(木)		第2回 淀川部会(現地視察)	平成13年6月2日(土)
	第 3 回 委 員 会	平成13年6月18日(月)		第3回 淀川部会	平成13年7月6日(金)
	第 4 回 委 員 会	平成13年7月24日(火)		第4回 淀川部会(現地視察)	平成13年8月9日(木)
	第 5 回 委 員 会	平成13年9月21日(金)		第5回淀川部会(現地視察)	平成13年8月11日(土)
	第 6 回 委 員 会	平成13年11月29日(木)		第6回 淀川部会(現地視察)	平成13年8月19日(日)
				第7回 淀川部会	平成13年9月10日(月)
琵琶 湖 部 会	第1回 琵琶湖部会	平成13年5月11日(金)		第8回 淀川部会	平成13年10月31日(水)
	第2回 琵琶湖部会(現地視察)	平成13年6月8日(金)		第9回 淀川部会	平成13年11月26日(月)
	第3回 琵琶湖部会(現地視察)	平成13年6月25日(月)		第10回 淀川部会	平成13年12月17日(月)
	第4回 琵琶湖部会	平成13年8月22日(水)	猪 名 川 部 会	第1回 猪名川部会	平成13年5月23日(水)
	第5回 琵琶湖部会	平成13年10月12日(金)		第2回 猪名川部会(現地視察)	平成13年6月7日(木)
	第6回 琵琶湖部会	平成13年11月1日(木)		第3回 猪名川部会(現地視察)	平成13年6月21日(木)
	第7回 琵琶湖部会(現地視察)	平成13年11月20日(火)		第4回 猪名川部会	平成13年8月7日(火)
そ の 他			そ の 他	設 立 会	平成13年2月1日(木)
				発 足 会	平成13年2月1日(木)
				第 1 回 合同懇談会	平成13年2月1日(木)

当日資料の閲覧・入手方法

以下の方法で資料の全文を閲覧、または入手することができます。

ただし、以下の点にご注意下さい。

- ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
- ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

●ホームページ

会議で使用した資料は、ホームページで公開しております。アドレスは以下の通りです。

<http://www.yodoriver.org>



●郵送

郵送による資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。(希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。)

ご希望の方は、別紙の「FAX送信票」にご記入のうえ、FAXまたは郵送で庶務までお申し込みください。

●閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

別紙

淀川水系流域委員会
ご意見用 F A X 送信票

FAX:06-6341-5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 桐山、森永、北林)

1. 淀川水系流域委員会へのご意見をご記入ください。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。
ご意見を公表する場合には、団体・会社名(または居住地)とお名前も公表いたしますので予めご了承ください。

2.下記にご記入下さい。

団体・会社名()

ご住所(〒)

TEL()

E-Mail()

お名前()

別紙

淀川水系流域委員会傍聴申込
および資料請求用 F A X 送信票

FAX:06-6341-5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 桐山、森永、北林)

1. 委員会または部会への傍聴を希望される方は、下記に希望する会議の名称と開催日をご記入下さい。会議開催の4日前までに傍聴を受け付けた場合は「受付のお知らせ」ハガキをお送りします。
会議のお知らせは、「会議開催のお知らせ」のチラシ、ホームページ等を参照下さい。

開催日 例)●月●日	会議名 例)第●回淀川部会		

2. 委員会、部会等で提出された資料の郵送を希望される方は、各会議の説明資料一覧をニュースレター、ホームページ等で参照いただき、下記に送付を希望する資料の提出された会議名称、資料請求 Noと資料名、必要な部数をご記入下さい。

会議名称 例)第6回淀川部会	資料請求 No 例)Y05-E	資 料 名 例)資料3-2 現状説明資料(淀川水系の京都府下7河川の漁業について)	部 数 例)1

3.下記にご記入下さい。(必ず ~ 全てにご記入下さい)

団体・会社名()

ご住所(〒)

TEL()

E-mail()

お名前(複数名での傍聴を申し込まれる場合には、全ての方のお名前をお書き下さい。)

淀川水系流域委員会 猪名川部会ニュース No.6

2002年4月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター

.....
研 究 員：新田、柴崎

事務担当：桐山、森永、北林

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-2-2(近鉄堂島ビル7F)

TEL ☎ 06 6341-5983 FAX ☎ 06 6341-5984

E-mail:k-kim@mri.co.jp

- 流域委員会ホームページアドレス
<http://www.yodoriver.org>

ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局 / 淀川工事事務所 / 琵琶湖工事事務所 / 大戸川ダム工事事務所 / 淀川ダム統合管理事務所 / 猪名川工事事務所 / 猪名川総合開発工事事務所 / 木津川上流工事事務所 / 水資源開発公団 関西支社 / 滋賀県 土木交通部河港課 / 京都府 土木建築部河川課 / 大阪府 土木部河川室 / 兵庫県 土木部河川課 / 奈良県 土木部河川課 / 三重県 伊賀県民局 等

* ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。